	初等部だより夏休み号	鎌倉女子大学初等部 令和元年７月１９日 第　５　号

健康と安全が第一

部　長　　勝木　茂

先週、生活科の学習（おしごとさがし）で２年生（１グループ）が、部長室にやって来ました。そして、わたしにインタビュー形式でいくつかの質問をしました。Ｑ：「部長先生は、朝礼でのお話をいつ考えるのですか」Ａ：「初等部生にぜひ話したいことは、前の週に考えていることが多いです」Ｑ：「お仕事をしていて嬉しい時ってどんな時ですか」Ａ：「みなさんが笑顔になってくれている時です」こんな感じで、いくつかのやりとりをした後、Ｑ：「先生のお仕事の中で一番大切なことは何ですか」と聞かれました。大切にしていること、大事なことはいくつもありますが、やはりその第一は、子どもたちの健康と安全です。ですから、Ａ：「みなさんの健康と安全です」と答えました。２年生は真剣な顔で一生懸命メモをとっていました。

今年は、例年に比べて雨が多く気温もあまり高くならない日が続いています。しかしながら熱中症の予防は不可欠です。初等部では、毎日数回、暑さ指数（ＷＢＧＴ）を計測し、初等部グラウンドにカラーコーンを置き、コーンの色で、「遊んで良い場所や注意すること」を示しています。コーンの色は、５色あり「青」→「白」→「黄」→「赤」→「黒」の順に熱中症指数が高くなり、それによって遊べる場所の制限等を設けています。例えば、「赤」の場合は、「遊べる場所はピロティのみ：はげしい運動は禁止：必ず水分補給：しっかりとした休息」、「黒」の場合は、「外遊びは全て禁止」となっています。

なお、このことについては、低学年の子どもたちにもよく分かるよう、廊下等にカラープリントを掲示して知らせています。

先日、７月１２日（金）幼稚部～高等部保護者の皆様を対象に「子どもを守るために知っておきたいこと」という演題で、セコム株式会社ＩＳ研究所リスクマネジメントグループ主務研究員　舟生岳夫様による講演会を実施いたしました。舟生様は、警視庁防犯教育に関する連絡会議委員や内閣府防災教育チャレンジプラン実行委員を務められている専門家です。

わたしも松本講堂で、保護者の皆様と一緒に講演を聴きました。講演を通して、わたしが印象に残った言葉は、「安全には絶対はない」「自分の安全は自分で守れるようにしていく」ということです。また、日頃より保護者の皆様がお子様としっかりとコミュニケーションをとり、「絶対に教えておくことはしっかりと教えておくこと」が重要であることを改めて認識いたしました。講演会当日、セコムよりいただきました「親子で読む防犯のしおり：あんぜんブック」を本日、全初等部生に配布いたしましたので参考にしていただければと思います。

さて、いよいよ夏休みがはじまります。夏休み期間中は、ともすると生活リズムが乱れがちです。夏休み期間中の健康と安全についてご家庭でのご指導をお願いいたします。

全ての初等部生が元気で２学期を迎えることができますよう、どうぞよろしくお願いいたします。